

## 富山県感染症発生動向速報

(2026年第19週分・5月4日～5月10日)

## ■今週の主な動向

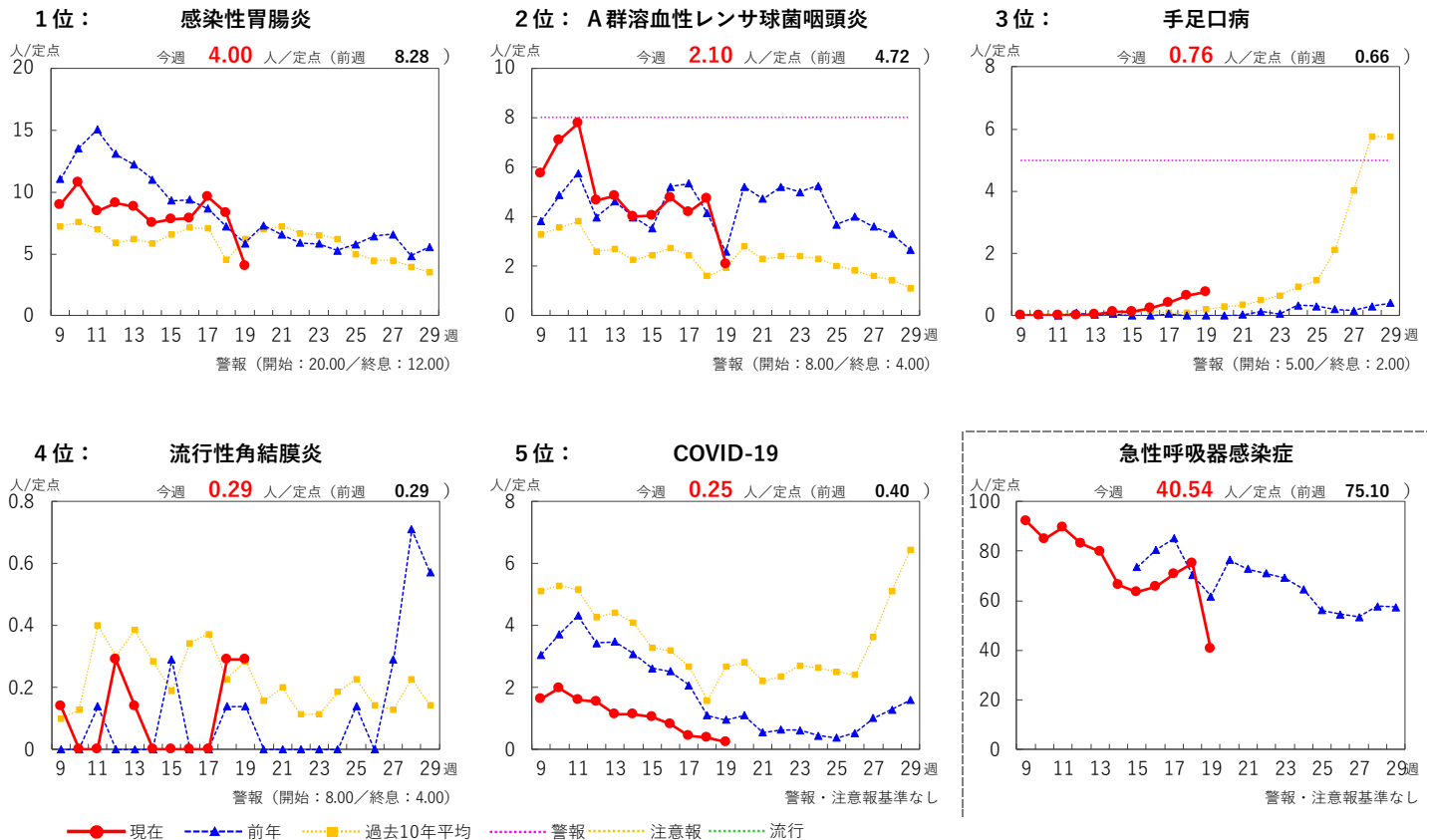
## ○手足口病の報告数が緩やかに増加しています。

手足口病は、1～4歳の幼児を中心に夏季に流行する傾向があります。特徴的な症状として、手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴う発疹がみられます。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って感染）が知られています。感染予防のため、おむつ交換やトイレの後、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。（[2024年第37週インフォメーション](#)参照）

## ○各定点報告の感染症は先週から概ね減少しました。祝日の定点医療機関の休診により、流行を過小評価している可能性があります。

## ■定点報告の感染症

## 今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症（第19週・5/4～5/10）

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

## ■全数報告の感染症

二類感染症 結核 2件（①30歳代、女性 ②80歳代、男性）

四類感染症 レジオネラ症 2件（①第18週診断分：40歳代、男性、肺炎型

②70歳代、女性、肺炎型）

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件（80歳代、男性、G群）





## 麻しん（はしか）拡大中 ワクチン接種歴の確認を！

### 《インフォメーション》

#### ●麻しん

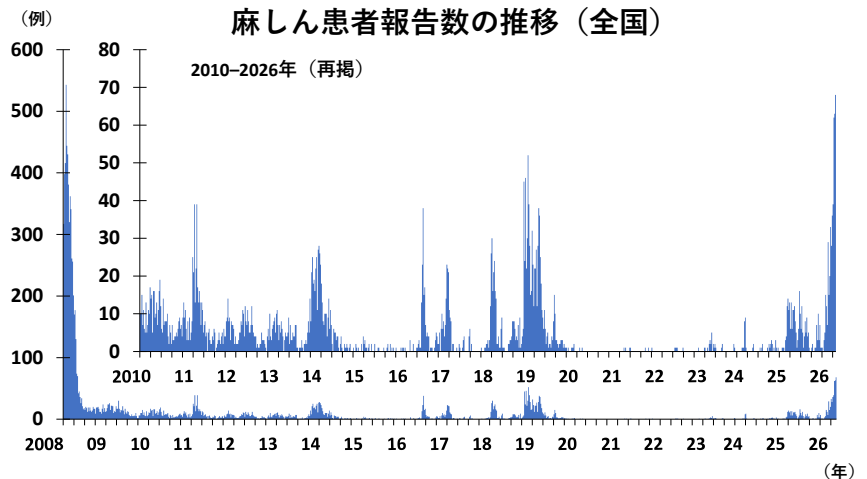
麻しんは、麻しんウイルスによる急性感染症であり、五類全数把握疾患になっています。予防接種法に基づくワクチンの接種機会の追加等の取り組みにより、2009年以降、全国の麻しん患者報告数は大幅に減少しました（図）。この状況から、2015年にWHOは日本が麻しんの排除状態であると認定しました。しかし、排除認定後も海外からの輸入例や、輸入例からの感染事例が散発的に認められています。ワクチン未接種の小児だけでなく、10歳代～40歳代の方にも感染が拡がるのが問題となっています。

麻しん患者報告数は、2020～2022年には新型コロナウイルス感染症に対する水際対策等により減少しました。一方、対策緩和後の2023年以降は増加傾向となり、2025年は年間で265例、2026年は第17週時点で既に累積436例が報告されています。患者の中には、ワクチン未接種もしくは接種不明者が多く含まれています。富山県内では、2020年以降麻しん患者の報告はありませんが、今後の麻しんの国内外の発生動向に注意が必要です。

麻しんウイルスに感染すると、10～12日の潜伏期間の後、発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪症状が現れます。一旦熱が下がった後、全身に発疹が出現し、4～5日高熱が続きます。発疹出現の1～3日前に、頬の内側にコプリック斑という粘膜疹が見られるのも特徴です。肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも1,000人に1人が死亡するとされています。風邪症状が出現する1日前から解熱後3日程度の期間は他人にうつす可能性があります。麻しんウイルスは空気感染し、高い感染力を示します。麻しんを疑って医療機関を受診する場合は、あらかじめ電話連絡の上、医療機関の指示に従ってください。その際には公共交通機関の利用は避けましょう。

麻しんの予防方法は、ワクチンを接種することです。麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は定期接種として予防接種法で定められています。2回のワクチン接種歴がある場合は、高い確率で感染を防ぐことが可能です。2000年4月1日以前に生まれた方は、2回の定期接種が行われていない可能性があります。母子健康手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は2回の接種記録を確認できない方は、今一度、ワクチン接種をご検討ください。なお、今回の流行は10歳代～40歳代の方を中心に流行していることも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

(<https://www.pref.toyama.jp/120511/kurashi/kenkou/iryuu/kj00019007.html> : 富山県HP)



**定期接種の対象者（第1期：1歳児、第2期：就学前1年間）\*は、ワクチン接種を忘れずに！**

※MRワクチンの偏在等により令和6年度中に接種ができなかった方について、接種期間が2年間（令和7年4月1日から令和9年3月31日まで）延長される場合があります。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第19週 2026年5月4日～2026年5月10日）

分類	疾患	今週報告分（第19週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1	1		2	1		9	3	20	33	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1		3		3	12	19	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症											1	1	
	四類感染症	E型肝炎								1				1	
		レジオネラ症			1			1	1	1	3	1	4	10	
	五類感染症	急性脳炎							1					1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1			2	1	4	7	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		2	4	
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		4	2	4	12	
		水痘（入院例）							1				1	2	
多剤耐性緑膿菌感染症													1	1	
梅毒								2	2	4			8	16	
破傷風													1	1	
百日咳								1					7	8	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	172	144	601	207	822	1,946	6,457	5,921	21,134	6,129	26,977	66,618		
		24.57	28.80	46.23	29.57	51.38	40.54								
	インフルエンザ	2				3	5	1,439	1,203	3,342	1,428	4,641	12,053		
		0.29				0.19	0.10								
COVID-19		4	1	2	3	2	12	271	140	253	136	482	1,282		
		0.57	0.20	0.15	0.43	0.13	0.25								
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症			3		1	5	26	9	95	22	88	240		
			0.25		0.38		0.10	0.17							
	咽頭結膜熱		1	2	2		2	7	27	16	124		54	221	
			0.25	0.67	0.25		0.20	0.24							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	4	20	7	27	61	99	143	1,121	186	1,037	2,586	
			0.75	1.33	2.50	1.75	2.70	2.10							
	感染性胃腸炎		16	9	14	10	67	116	497	389	886	227	2,503	4,502	
			4.00	3.00	1.75	2.50	6.70	4.00							
	水痘				1		2	3	3	15	30	9	78	135	
					0.13		0.20	0.10							
	手足口病				21	1		22		14	49	5	3	71	
					2.63	0.25		0.76							
	伝染性紅斑								8	3	17	4	10	42	
	突発性発しん				3		4	7	5	12	49	12	48	126	
				0.38		0.40	0.24								
ヘルパンギーナ				2			2	13		4		3	20		
				0.25			0.07								
流行性耳下腺炎						1	1	2		1		6	9		
						0.10	0.03								
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎			2			2	8	2	3			13		
				1.00			0.29								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1		
	マイコプラズマ肺炎							8		2	2	4	16		
	クラミジア肺炎										2		2		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）					1	1	55	41	49	40	101	286		
	COVID-19による入院患者	1				1	2	18	14	7	11	57	107		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。